



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成28年12月号②】

いよいよ寒さが本格的となり冬の到来です 《重点目標》 『夢の実現に向けて、主体的に行動できる生徒』

学校では、2学期終盤を迎え、生徒たちは、学習のまとめの時期となります。様々な行事への取組の成果や課題を振り返る時期です。一人ひとりの生徒が、来る新しい年、そして、あと3ヶ月余りの新年度へ向けて、ステップアップの準備をしています。今学期、「目標に向かって、今この瞬間を努力しよう」をスローガンに、生徒たちは、多くの成果を残してくれました。現在は、各学年とも7日（水）で三者懇談を終了し、特に3年生では、進路決定に絡む重要な調整時期となります。願わくは、全ての3年生たちが、自らの「進学したい・就職したい」進路に進むことが出来ますよう願わずにはいれません。そんな中、国語力は読書から、そして交通事故なく、互いに思いやりのある生活を心がけたいものです。

【読書のすすめ】

「えりも岬の母さん医師」 (鈴木 陽子 集英社文庫)



素晴らしい人生を歩む女医さんの話です。子育て中の主婦だった鈴木さんは、猛勉強の末になんと36歳で医科大学に合格し、42歳で医者になり、人々のために役立ちたいという願いから、鈴木さんは小さな町での医療活動を希望しました。そして夫や子供たちの理解を得て大阪を離れ、北海道のえりも岬の診療所に単身赴任するのです。

本書が感動的なのはそればかりではありません。「親離れ、子離れとは自分の価値観を押しつけないことだ」と考える鈴木さんの子育ての姿勢、息子さんが難病にかかって死線をさまよったときの家族愛に満ちた話などから、人生の在り方ということについて、あらためて深く考えさせられる本です。

【世界人権の日より】

国連は、1948年12月10日、第3回総会で「世界人権宣言」を採択し、人権の国際的基準を示しました。世界人権宣言は、第1条で、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」と規定し、第2条では、「人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位などによる差別の禁止」を規定し、すべての人間の自由・平等・無差別の原則を定めています。

学校では、道徳の時間をはじめ、各教科・特別活動・総合的な学習の時間の授業中、一人ひとりの学習や生活面でのかかわりの中でも意識していきたいと考えております。

各学級においても、個々が認められる学級づくり、そして授業において、互いに支え学び合える授業づくりに取り組んでいきたいと思っております。



【交通事故防止県民総ぐるみ運動】

年末年始交通事故防止県民総ぐるみ運動が、平成28年12月10日(土)から平成29年1月7日(土)までの29日間実施されます。先生方も朝早くから、寒い中通学路に立ち、交通安全事故防止のため、声かけを行っております。

 **運動のスローガン** **こんばんは 早めのライトで ごあいさつ**
 <年間スローガン：みんながね ルール守れば ほら笑顔>

一人ひとりの慎重な行動・判断が必要です。

- ・ 十字路・T字路に注意・・・飛び出し厳禁！！
- ・ 夕方、車の運転手は発見が遅れます。「命」を大切に！

